

お知らせ

INFORMATION

避難検証訓練実施

平成22年12月8日、4N病棟456号室より夜間出火の想定で、検証訓練を実施しました。12分以内に出火区画外へ避難することが、当院規模の施設における基準となっています。車椅子やストレッチャーで患者役の職員をすみやかに誘導するなど、訓練参加者は真剣に取り組んでいました。

火災が発生しやすい時期になりました。職場や自宅においても、避難経路を確認するなど、日頃から準備しておくことが大切です。



永頼フェスティバル開催



平成22年12月6日(月)、松山全日空ホテルダイヤモンドボールルームにおいて、毎年恒例の永頼会グループ忘年会を開催いたしました。

松山市民病院職員の他に、松山中央乳児保育園職員、ホスピタルサービススタッフ、来賓としてご招待致しました関連企業の皆様、総勢約500名で盛大に行われました。

iPodやデジタルカメラ、高級和牛やおせち料理などの豪華景品が当たる抽選会では、今年度より着任した医師による抽選で、大いに盛り上がりました。

脳神経外科外来

休診日としていました木曜日午前に、

2月1日より外来診療を行いますので、外来担当医が一部変更となります。詳しくは外来診療担当表、またはホームページでご確認ください。

処方せんの記載方法

平成22年1月、厚生労働省より「内服薬処方せんの記載方法の在り方に関する検討会報告書」が出されています。医療安全の観点から内服薬処方せんの記載方法に係わる課題やその標準化等、今後の処方せんの記載方法の在り方についての報告書です。

主な内容を以下に示します。

内服薬処方せん記載のあるべき姿	
薬名	薬価基準に収載されている製剤名
分量	1回量(現行=1日量)
散剤・液剤の分量	製剤量 (原薬量ではなく製剤としての重量)
用法・用量における服用回数・タイミング	日本語で記載
用法・用量における服用日数	実際の投与日数

当院におきましても処方せん記載方法の変更に向けて環境整備を開始する予定です。ご協力よろしくお願いいたします。

はな・一期一会 Vol.17



玉簾(たますだれ) *Zephyranthes candida*
～松山市内～

西インド諸島が原産地であり、開花時期は、8～10月頃。白く鮮やかな花を「玉」に、長い葉が集まっているようすが「簾」に例えられ、雨のあとで一斉に咲きはじめることから rainlilyとも呼ばれる。このショットは、雨の降り続く時間に偶然民家の塀に沿って咲いているのを見つけたものである。6弁花である花は少数ではあったが、その白さが細長い葉の濃緑色に映えて鮮やかであり浮き上がって見えた。既に開花が終了して緑の実をつけ、いずれ黒くなっていくと思われるものと対照的に、いまだ咲き切っていない蕾の花もみられ、この雨後に咲いたであろうと思われる。自然界で万物流転、諸行無常が具現化している一幕である。

(写真・文/大拙祐治)

地域連携だより



地域連携パス運用開始



地域連携室 三谷直紀

2011年1月より脳卒中、大腿骨頸部骨折において地域連携パスの運用を開始しました。

一般にクリニカルパスは一種の治療計画書であり、患者様が安心して治療を受ける・治療に専念することに役立つツールとして用いられますが、当院にとってもパスの批准により、治療の標準化、安全で質の高い医療の提供、医療従事者間の連携によるチーム医療の実践、業務の効率化などの効果を得られるようになってきております。

医療分野において従来の病院完結型の医療から地域完結型の医療へと環境の変化が求められるなかで、当院においても地域連携パスの導入により、クリニカルパスの運用をひとつの医療機関内だけでなく、地域の医療圏にまでに拡大していくことが必要になってまいります。より一層の連携の強化が必然と考えておりますので、開業医の先生方との医療連携を図りながら、患者様の医療への安心を高めるとともに、地域医療に密着した患者サービスの向上に努めたいと考えております。今年もよりしくお願い致します。